

第198回鶴見川舟運復活プロジェクト定例会（報告）

日時：令和6年10月19日（土）18時から

場所：新羽地域ケアプラザ4F

経過

9月29日、稲刈りと自然観察 新羽と新横浜の親子19名とスタッフ15名が参加しました。10月10日の『タウンニュース』港北区版に紹介されました。

10月7日、漕ぎ手研修 舟運のメンバー8名とスタジアムのスタッフ1名で栈橋作りと乗船体験を行いました。その後、舟運丸の補修（バリ取り）をしました。10月17日の『タウンニュース』港北区版に紹介されました。

10月19日、本日午前中に脱穀をしました。暑い中、お疲れ様でした。

本日の予定

議題 ① 12月の定例会兼忘年会について

12月15日（日）午後6時、新羽駅高架下の「味くり家」で忘年会
会費5,000円と決まりました。

② 今年度の残り事業について

舟による自然観察会について、スタジアムさんと面談する

③ その他、連絡事項など

21日13時～西方寺で百万遍念仏と、脱穀したワラで大蛇作り（見
学自由）、25日は新羽小でワラ蛇作り

11月2日、篠原城と緑を守る会の散策あり

話題提供 注連引百万遍のワラ蛇作りについて（平井）

次回の日程

（第199回）令和6年11月16日（土）18時から

*次々回は12月15日

場所：新羽地域ケアプラザ4F

 <p>新横浜で稲刈り体験 地元町内会の子らが参加</p> <p>米作りや自然観察を通して、自然を学ぶ場を提供している鶴見川舟運復活プロジェクト（大谷佐一会長）は9月29日、新横浜公園内の水田で、6月</p> <p>当日は、プロジェクトメンバーのほか、新横浜町内会、新羽町内会の子どもたちと保護者らが参加。子どもたちはメンバーに教わりながら慣れない鎌を使い、稲を根元から刈り取った。刈り取られた稲は今後、藁にして、新羽の地域行事である「注連引き百万遍」で作られる大蛇の材料に使用される予定だ。</p> <p>稲刈り中には、ト</p>	 <p>新横浜公園遊水地 栈橋の好位置を調査 鶴見川舟運復活プロジェクト</p> <p>日産スタジアム隣の新横浜公園遊水地で、手作りの和舟を浮かべ、地域の子どもらに向けた自然</p> <p>和舟を池に下ろすメンバーら（提供写真）</p> <p>観察会や乗船体験を行っている鶴見川舟運復活プロジェクト（大谷佐一会長）。同団体は10月7日にメンバー8人とスタジアムのスタッフ1人が参加し、栈橋作りと和舟の試乗を実施した。</p> <p>普段、栈橋を作っている場所にガマが茂っていたため、少し西側へ移動し、栈橋を設置。しかし、河川の護岸を補強する蛇籠（じやかご）がない場所だったため、上・下舟時の手摺が設置できず、また通常の長靴では池の中に入れないことを確認した。「さらにここから少し東側に行く、設置しやすい場所があることがわかりました」とメンバーの一人。今回の実施は、次回の乗船体験に活かすという。</p>
---	---

10月10日のタウンニュース（部分）

10月17日のタウンニュース